

北九州
市議会

12月議会

スタート

補聴器購入助成制度

学校給食無償化

皆さんの声を届けます

12月議会が1日から11日までの日程で開かれます。日本共産党から藤沢加代議員が会派質疑に、高橋都、伊藤淳一、永井佑の3議員が一般質問に立ちます。

「北九州市新ビジョン」を民間会社に事実上丸投げし、予算案の議会上程・可決前に業務の提案受付を始めるなど、議会軽視を続けてきた武内市長。そつした対応は、各党の予算要望にも色濃く浮かび上がってきています。

自民党の予算要望には、「高度な政治的判断」（武内市長）でドタキャン。数回にわたり、延期された会派もありました。

「理由もはっきりしないし、謝罪もない」との声も漏れ聞こえてきます。

一方、市民が願う学校給食の無償化、難聴高齢者への補聴器購入助成支援などには背を向けたまま。市議団は、議会軽視の市長の姿勢をただすとともに、市民の願い実現に向けて全力を上げます。

12月議会 日程

- ◆本会議開会（質疑、一般質問） 1日(金)
- ◆本会議（一般質問） 4日(月)～6日(水)
- ◆常任委員会 7日(木)
- ◆常任委員会／議会運営委員会 8日(金)
- ◆本会議（閉会） 11日(月)

※請願・陳情の締め切りは12月1日です

藤沢加代 議員（会派質疑、60分）

- 職員の給与改定について
- 指定管理者制度の検証について
- 埋蔵文化財センター移転事業について
- 物価高騰の支援給付金について



藤沢加代 議員

伊藤淳一 議員（一般質問、60分）

- 「稼げるまち」について
- 投資的経費の適正水準の維持について
- 公共施設等の老朽化対応について
- 国保会計の法定外繰り入れについて
- 新しい感染対策について



伊藤淳一 議員

高橋都 議員（一般質問、60分）

- 経済対策について
- 老朽空き家対策について
- 市営住宅の有効活用について
- 門司区の街づくりについて



高橋都 議員

永井佑 議員（一般質問、60分）

- ユーステーションについて
- 病児保育について
- 学校給食、質の向上について



永井佑 議員

※質問項目は変更の可能性があります。

現地説明会に参加し遺構を確認する高橋都市議（右）



初代門司駅の遺構 現地説明会に220人

遺構保存の声相次ぐ

JR 門司港駅周辺で初代門司駅の機関車庫跡などの遺構が見つかり、発掘調査が進んでいます。11月19日には現地説明会が開かれ、市民ら約220人が参加。遺構の保存を求める声相次ぎました。

遺構が見つかったのは、市が進める門司港複合公共施設整備事業の建設現場。高橋都市議が「水害の危険のある地域に防災拠点となる区役所などの公共施設を整備すべきでない」と再三議会で取り上げてきた事業です。

説明した学芸員は「ここは門司港の街の成立や近代化の原



多くの考古学、鉄道ファンが集まった現地説明会

点」「門司港の歴史が丸ごと出土した」などと解説。参加した建築士は「門司港にふさわしい貴重な遺産。整備事業の設計変更も可能。ぜひ保存してほしい」と語っていました

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区城内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

日本共産党北九州市議団 ホームページアドレス⇒

市議会ニュース

2023.12.1

No.581





山形市「聴こえくつきり事業」に学ぶ 市議団がリモート懇談 補聴器購入助成制度を北九州市にも

リモートで説明を受ける市議団

市議団は11月17日、2022年度から「聴こえくつきり事業」を実施している山形市の担当者から、制度の仕組みや効果などについてリモートで説明を受けました。

同事業は、「聴き取る機能の衰え」の予防、早期対応などによって「聴こえ」の状態をチェック・改善し、認知症予防、健康寿命の延伸につなげていくことを目的としたもの。「医・産・学・官の協働」で普及啓発、早期発見、早期対応、フォローアップなどに取り組み、補聴器購入支援、継続的な補聴器利用につなげています。この2年間に「聴こえチェック」には248人が参加、補聴器購入助成を受けた市民も増えています。

市議からは協働の詳しい内容、予算規模、事業に対する市民の反応など、質問が相次ぎました。山形市の担当者は「医・産・学・官の協働」が事業実施の核となること、「聴こえ状態のチェック」とフォローアップ、継続的な補聴器利用の大切さを強調しました。

「武内市政をどう見る、補聴器購入助成を北九州市でも、



武内市政について報告する荒川団長

市議団は11月16日、「武内市政をどう見る」「補聴器購入助成を北九州市でも」をテーマに、自由法曹団と意見交換しました。弁護士、議員合わせて17人が参加しました。

荒川徹団長は、武内市政について①街づくりの基本となる「新ビジョン」策定を民間に丸投げ②安全保障政策では軍拡を進める「政府の立場と軌を一にしている」と発言③「稼げるまちづくり」を掲げ、企業誘致に力を入れる一方、中小企業・小規模事業に寄り添わないなどを報告。

藤沢加代議員は「補聴器購入助成制度を北九州でも」をテーマに、自らの難聴と補聴器購入までの体験や購入・活用までの苦労などを報告。その上で、2023年10月1日現在、全国218自治体で助成制度が実現していることや、

2019年9月議会で共産党が提出した補聴器購入の公的補助制度の創設を求める意見書に自民、公明などの会派が反対した事実に触れ、高齢者率No.1の北九州市でこそ、助成制度を実現したい、と力を込めました。

意見交換では「武内市政は企業の儲けのため、税金を食いつぶそうしているのではないか」「どういう助成制度を作りたいのか。助成の金額はどれくらいを想定しているのか」などの質問、意見がだされました。

市議団 自由法曹団と意見交換

市民要望実現へ 市議団全力

貫小学校を視察した藤沢加代市議(右)



校舎を覆う竹林を伐採

湿気で机の上がカビ、 小学校を覆う竹林伐採現場を視察

10月28日、藤沢加代議員と地域の住民が、貫小学校(小倉南区)を覆う竹林の伐採現場を視察しました。学校の施設などをチェックする「学校ウォッチング」(8月22日実施)の際、「夏休みの間、湿気で机の上がカビに覆われている教室がある」と、話題になった場所です。

学校を訪れると、3階建て校舎に達する高さ20mほどの竹がビッシリ。学校

を覆う竹林に光を当てた学校ウォッチングは学校施設だけでなく、子どもたちの健康を守る役割も浮き彫りにしました。

工事関係者によると、「竹林は伐採しても2年もすれば、同じようになる」とのこと。ウォッチングの継続が必要です。

堀江氏の市アドバイザー解任申入れに、市が開き直り?

【回答】

「北九州市アドバイザー」には、大局的・専門的観点から市政への助言をいただくとともに、北九州市に関する発信等を行っていただくことをお願いしています。

堀江氏には、今後とも、創業支援などの豊富な経験のもと、スタートアップ支援などのアドバイスをいただくとともに、発信力を生かして北九州市のPRにご協力いただきたいと考えています。

北九州市議団が市アドバイザーに就任(9月22日)した堀江貴文氏(クロスエフエム会長)の解任を求めていた問題で、市は11月10日、「今後ともアドバイザーをいただくとともに、北九州市のPRにご協力いただく」と回答しました。堀江氏がインボイス制度実施(10月1日)目前の9月27日、ユーチューブ動画を公開、「ちよつと頭の弱い人たちがワーワー騒いで…」などと揶揄したことについては、一言の説明も釈明もありませんでした。

事業所の99%を中小企業・小規模事業者が占める北九州市ですが、インボイス導入ですでに廃業する中小事業者も出ています。

アドバイザーの役割について市は、大局的・専門的な助言や発信等をおこなってもらったこととしていますが、堀江氏の揶揄も「大局的・専門的な助言」なのでしょうか。

市議団は、正面から答えるものになっていないと厳しく指摘しています。

日本共産党各議員の常任委員会配置 (◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員)

総務財政委員会	経済港湾委員会	教育文化委員会	保健福祉委員会	環境水道委員会	建設建築委員会
大石 正信	高橋 都	◎永井 佑 藤沢 加代	荒川 徹 伊藤 淳一	出口 成信	☆○山内 涼成